

様式3

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 実績報告書

学校番号(125) 豊田市立旭中学校

1 テーマ

郷土を見つめ、郷土に学び、自らの生き方を求める生徒の育成をめざして
～地域の人・もの・こととの関わりをとおして～

2 ねらい

- (1) 学年ごとの大テーマのもと、総合的な学習の時間を中心に、生徒一人一人が個人課題を設定し追究していく活動に取り組む。国際理解・環境・福祉等の今日的課題を、地域の人・自然・文化・産業との関わりを通して追究することにより、自ら学び考える力、自己の生き方を求める力を育成する。
- (2) 地域の福祉施設や保育施設への訪問、世代間、地域間を超えて人と交わり、社会性を高め、人を思いやる心と協調性を高める。地域以外の市街地を訪問し、自分たちの地域の良さを伝える活動をする。
- (3) 地域の施設・名所などの訪問を通じて、地域の特徴を知るとともに地域の素晴らしさを見直す機会とする。
- (4) 校内整備員には、校内整備の一環として校内周りの森林の伐採等のお手伝いや助言もいただき、学びの時間の一助も担ってもらう。
- (5) 上記1～4の活動を通して地域から学んだことを地域へ発信し、学習の成果を確認して次へのステップとするとともに、地域の方々への感謝の気持ちを高める。

3 活動内容

- (1) 課題を追究する総合的な学習の時間等での活動

<1年生>

「旭の人・もの・ことから、生き方を学ぶ」をテーマに、旭地区周遊ツアー、旭地区の産業、職業調べ等を実施。

<2年生>

「旭のもの・人・こと及び職場体験学習から自分の生き方を探る」をテーマに、職場体験学習や企業訪問、高校見学等を実施。地域活性化について、地域の方々との意見交換を実施。

<3年生>

「旭ハラペーニョ部」をテーマに、わくわく事業に参画しつつ、地域の方々の協力を得ながら特産品であるハラペーニョの収穫、商品開発、販売活動等を実施。文化祭にて成果発表。

- (2) 福祉施設訪問、保育施設訪問

全校で地域の福祉施設訪問を実施。3年生がこども園訪問を実施。

4 成果と課題

- (1) 総合的な学習の時間等の学習を通して

- ・バスを活用した旭地区周遊ツアー実施等、生徒が現地で見えて生の声を聞き、その思いなどを知ることで旭地区の魅力を再認識できた。また、職場体験学習や企業訪問、地域講師の講話等から、そこで働く方々の思いや職業観に触れることで、今後の自分の生き方について探究的な学習ができた。
- ・地域活性化を目標に、ハラペーニョを介した様々な活動の企画・運営をすることで、生徒が地域の一員であるという意識を高め、今まで以上に旭地区に対して愛着を深めることができた。今後は継続的な課題の追究に向けた取組が実施できるよう引継ぎ等を確実に行っていきたい。
- ・保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色ある教育活動を行っているか」の項目について、90%以上の保護者が「とてもよい」「よい」と回答していることから、保護者の理解が得られていると考える。

- (2) 施設訪問等を通して

- ・バスを活用した福祉施設訪問では、全校合唱を披露したり、ゲームやクイズを行ったりするなど、利用者の方々と触れ合う機会を通して、ボランティア精神を養うと同時に、コミュニケーション能力を高めることができた。
- ・幼児と触れ合う機会を通して、その関わり方の基礎的・基本的な知識を身に着けると同時に、コミュニケーション能力を高めることができた。

- (3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことについて

学校敷地内の雑草の処理や施設修繕等、校内整備員の活動により、生徒にとって安心安全な学習環境を整えることができた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

特色ある学校づくり推進事業の取組に関する成果を、各種イベントや文化祭で発表した。

また活動の様子については、学校だよりや学級通信、学校ホームページで、随時、情報発信した。

今年度の学校ホームページアクセス数は、2/1現在47,000件を越えている。